

令和4年度 児童用学校評価結果（1年～6年 377名）

達成率(%)=(A+B)÷全体×100

No.	項目	回答数	達成率(%)	考察	
1	わたしは自分から進んであいさつができる。	4	143	81.9%	生活委員会、交通少年団、各学級による朝のあいさつ運動の充実に努め、進んで元気よくあいさつができるよう、今後も継続指導していく。
		3	161		
		2	59		
		1	8		
		無	0		
2	わたしは毎日家庭学習をしている。	4	163	77.6%	約77%の児童が「毎日家庭学習をしている」が、約23%の児童に課題が見られる。この児童に対して、家庭学習が定着するよう家庭と協力して指導していく必要がある。
		3	128		
		2	58		
		1	26		
		無	0		
3	わたしは毎日「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している。	4	150	75.3%	「早寝・早起き・朝ご飯」が望ましい生活習慣の基礎であり、約75%の児童が実践しているが、まだ定着していない25%の児童の家庭との連携した指導の取り組みが必要である。
		3	133		
		2	77		
		1	16		
		無	0		
4	わたしは授業で自分の考えを発表することができる。	4	94	54.3%	【課題】小中一貫教育や校内研究・研修等で授業改善を進め、授業の中で積極的に自分の考え等を発言できる支持的風土のある学級づくりや児童相互による学び合いの授業に取り組んでいく。
		3	110		
		2	138		
		1	34		
		無	0		
5	わたしは、授業中、先生や友達の話をちゃんと聞いている。	4	140	90.8%	これまで通り、授業中における学習規律の徹底や聞く態度の育成に力をいれていく。特に、「学習で身につけたい力の育成」を再確認し指導の工夫改善を図る。
		3	197		
		2	30		
		1	4		
		無	0		
6	わたしは、忘れ物をしないで、学習用具の準備をきちんとすることができる。	4	121	78.2%	約8割の児童が学習用具を準備し学習への構えができていて、反面、学習用具等の準備ができず学習への構えができていない児童が2割おり、家庭との連携を継続していく。
		3	174		
		2	69		
		1	13		
		無	0		
7	わたしは道徳の時間に勉強したことができるように努力している。	4	155	88.6%	8割の児童が、思いやりのあるやさしい言葉づかいをしているが、2割の児童に課題が見られる。家庭との連携も図りながら、学校では、道徳や教育活動全体を通して思いやりの心を育てやさしい言葉づかいができるようにしたい。
		3	170		
		2	39		
		1	3		
		無	0		
8	わたしは進んで運動や体カづくりをしている。	4	187	75.9%	約75%の児童が進んで取り組んでいる。体育の学習以外でも休み時間にボール運動やなわとび等、児童が楽しみながら体を動かしている姿が見られる。今後も児童が進んで運動や体カづくりを行っていきける環境づくりに取り組んでいきたい。
		3	96		
		2	71		
		1	19		
		無	0		
9	わたしは学校がきれいになるようにそうじや整理せいとんをしている。	4	154	84.3%	約8割の児童が朝の活動、学校美化活動に取り組んでいる。今後、地域の方々との活動や美化・清掃活動を主体的に取り組んでいけるようにしたい。
		3	163		
		2	43		
		1	16		
		無	0		
10	わたしはいつも、あぶないことをしないように気をつけている。	4	218	90.1%	約9割の児童が避難訓練や学級指導を通して、安全に過ごしたり危険を回避したりする態度が育っているが、更に良くなるように継続して指導に取り組んでいく。
		3	120		
		2	26		
		1	11		
		無	0		
11	先生方の授業はわかりやすい。	4	210	92.8%	約9割の児童が肯定的評価を示しており、小中一貫教育や校内研等の取り組みによる授業改善、先生方の日々の教材研究と実践の積み重ねの結果である。今後も授業改善等に取り組むたい。
		3	138		
		2	22		
		1	5		
		無	0		
12	先生方は、授業でわからないところを丁寧に教えてくれる。	4	234	93.0%	先生方が、わかるまで児童に寄り添っていることがわかる。93%の児童が満足しているが、残りの7%の子どもたちに焦点をあてていくような指導が求められる。
		3	113		
		2	20		
		1	6		
		無	0		
13	先生方はいじめや暴力など、困っていることを解決してくれる。	4	213	89.6%	児童のトラブルや「おしえてアンケート」等による先生方の対応が評価されているが、否定的評価の児童を少しでも改善できるような個に応じた指導が求められる。
		3	116		
		2	28		
		1	10		
		無	0		
14	先生方は命の大切さや社会のルール(学校のきまり)についてよく教えてくれる。	4	256	94.9%	人権の日、人権教室、道徳・特別活動や教育活動全体を通して命の大切さや社会のルールを学んでいる。今後も人権意識や道徳心・社会性の育成に努めたい。
		3	99		
		2	16		
		1	3		
		無	0		
15	先生方は地震(じしん)や火事(かじ)、不審者(ふしんしゃ)が来た時はどうすればよいか教えてくれる。	4	269	97.1%	避難訓練(火事、地震、津波)や不審者対応など日々の学級指導が、児童の危機回避態度・能力の育成につながっている。今後も児童一人一人が、自分の命は自分で守れるよう指導していく。
		3	95		
		2	6		
		1	5		
		無	0		
16	わたしは、スマホや携帯電話(けいたいでんわ)を家族(かぞく)の人との決まりを守って、つかっている。	4	215	86.3%	8割近くの児童が「決まりを守って使用している」が、2割の児童に課題が見られる。長時間の使用やSNS等のトラブルが起きないように家庭と協力して指導していく必要がある。
		3	101		
		2	30		
		1	20		
		無	0		
17	わたしは、ちいきの行事やボランティア活動に、さんかしたことがある。	4	85	44.7%	【課題】総合的な学習や生活科、社会科等と関連付けながら、地域探検や地域行事、ボランティア活動について関心を高めていく。また、地域行事への呼びかけや地域の方々と触れ合う場の工夫が必要である。
		3	81		
		2	107		
		1	98		
		無	0		